

千葉商工会議所景気動向調査

……平成25年11月期調査結果報告……

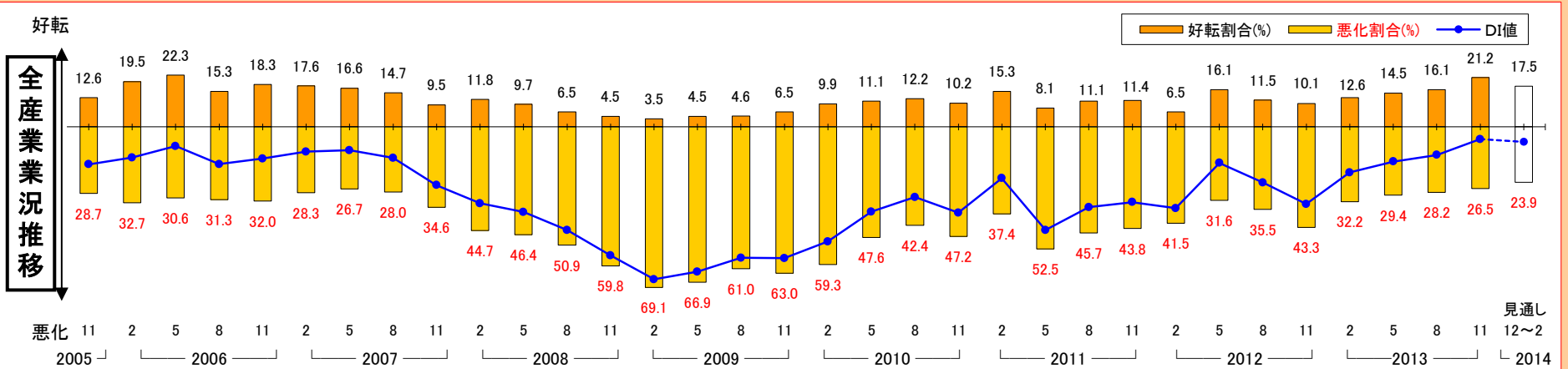
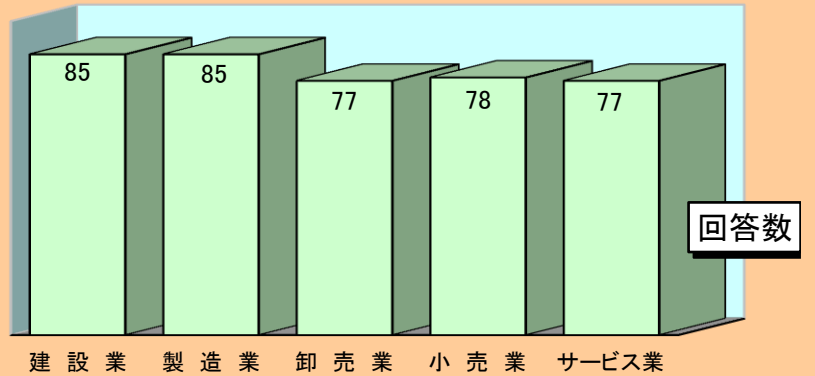
調査期間：平成25年11月11日(月)～11月21日(木)

調査対象：千葉商工会議所法人会員事業所 500社
(回答 402社 回答率 80.4%)

DI値(景気動向指数)とは、売上・採算・業況などの項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準としてプラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI値：(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)



【全体の特徴】

(▲はマイナス)

11月の業況DI(前年同月比ベース、以下同じ)を見ると、前回調査(平成25年8月、以下同じ)と比較して、建設業、卸売業、サービス業の3業種で上昇した結果、全産業合計DIは6.8ポイント上昇して▲5.3となり、4期連続で上昇した。一方、向こう3ヶ月(12～平成26年2月、以下同じ)の先行き見通しでは、建設業で大きく下降する見通しとなったことも影響し、全産業合計DIは現状より1.1ポイント下降の▲6.4となった。

売上DIでは、前回調査と比較して、建設業、製造業、サービス業の3業種で上昇した結果、全産業合計DIは5.5ポイント上昇して▲4.0となり、4期連続で上昇した。また、向こう3ヶ月の先行き見通しでも、製造業、卸売業、小売業の3業種で上昇見通しとなった結果、全産業合計DIは現状より6.5ポイント上昇の2.5となった。

採算DIでは、前回調査と比較して、建設業、製造業、卸売業の3業種で上昇した結果、全産業合計DIは3.3ポイント上昇して▲16.9となり、4期連続で上昇した。また、向こう3ヶ月の先行き見通しも、製造業、卸売業、サービス業の3業種で上昇見通しとなった結果、全産業合計DIは現状より1.6ポイント上昇の▲15.3となった。

全体の総括としては、景況感は4期連続で上昇、特に建設業の好調が顕著で、卸売業、サービス業でも上昇傾向、製造業はほぼ横ばい、小売業で若干下降傾向となった。先行きは小幅ながら下降見通しとなっており、原材料価格高止まり・円安傾向に加え、消費税率引き上げ後の景況を不安視する模様がうかがえる。

【業種別特徴】

・建設業

前回調査と比較し、業況DIは20.7ポイント上昇して26.8に、売上DIも25.1ポイント上昇して19.0に、採算DIも15.8ポイント上昇して6.0となった。業況DIと売上DIは2期連続、採算DIは2期ぶりの上昇となった。向こう3ヶ月の先行き見通しでは、業況DI、売上DI、採算DIとも現状より下向くとの見方となった。

企業の声としては、平成26年4月の消費税率引き上げまでの駆け込み需要増加に対し「慢性的に職人、人材不足に陥っている」といった声に代表される人手不足を指摘する声が多数あった。

・製造業

前回調査と比較し、業況DIは0.1ポイント下降で▲10.8とほぼ横ばい、売上DIは6.7ポイント上昇して2.4に、採算DIも4.4ポイント上昇して▲19.3となった。業況DIは4期ぶりに下降し、売上DIは4期連続、採算DIは2期ぶりの上昇となった。

向こう3ヶ月の先行き見通しでは、業況DI、売上DI、採算DIとも現状より上向くとの見方となった。

企業の声としては「仕入単価は上昇を続け、販売単価は下落を続けている」といったような、為替変動、天候不順等の要因による仕入価格高騰の対応に苦慮している旨の言及が多数あった。

・卸売業

前回調査と比較し、業況DIは7.8ポイント上昇して▲15.6に、採算DIも12.0ポイント上昇して▲26.4となったが、売上DIは6.3ポイント下降して▲22.1となった。業況DIと採算DIは2期ぶりの上昇となり、売上DIは2期ぶりの下降となった。一方、向こう3ヶ月の先行き見通しでは、業況DI、売上DI、採算DIとも現状より上向くとの見方となった。

企業の声としては、「急激な仕入価格の上昇分を価格転嫁できない」といった仕入価格高騰を懸念する声に加え、消費税率引き上げに対して不安視する旨の声が複数あった。

・小売業

前回調査と比較し、業況DIは3.7ポイント下降して▲31.2に、売上DIも12.2ポイント下降して▲25.9に、採算DIも11.0ポイント下降して▲35.0となった。業況DIは4期ぶり、売上DIと採算DIは3期ぶりの下降となった。向こう3ヶ月の先行き見通しでは、業況DI、売上DIは現状より上向き、採算DIは現状よりも下向くとの見方となった。

企業の声としては、消費税率の引き上げに関して、一部で駆け込み需要に期待する声があるが、それ以上に引き上げ後を不安視する声が多数あり、税額表示の経過措置に関する声もあった。

・サービス業

前回調査と比較し、業況DIは9.0ポイント上昇して2.6に、売上DIは12.8ポイント上昇して4.0となったが、採算DIは6.7ポイント下降して▲11.8となった。業況DIは2期ぶり、売上DIは3期連続の上昇となったが、採算DIは2期ぶりの下降となった。なお業況DIは1993年以降で初めてプラスに転じた。向こう3ヶ月の先行き見通しでは、業況DIはほぼ横ばい、売上DIは現状より下向き、採算DIは現状より上向くとの見方となった。

企業の声としては、消費税率引き上げ前の駆け込み需要による活況に関する声もあるが、円安の影響で原材料価格高騰による利益率の低下、収益圧迫に関する声も複数あった。

【調査結果のポイント】 * 業況DIは4期連続で上昇する一方、消費税率引き上げ後を不安視する声も

景気動向調査は インターネットで詳細をご覧ください。

<http://www.chiba-cci.or.jp/>

